



長崎大学市民公開講座

ウイルスの一生を視る

～顕微鏡を用いたウイルス感染メカニズムの解明～

ウイルスは自分で増えることができないため、細胞に感染することで子孫を増やします。本講座で講師を務める南保明日香教授は、顕微鏡を使って、ウイルス感染を直接「視る」技術を開発することで、感染メカニズムの解明に取り組んできました。今回は、現在話題となっているエボラウイルスが感染する仕組みについて分かりやすく解説します。



令和元年

日時

11月29日 [金] **参加無料** 事前申し込み不要
19:00▶20:30

場所

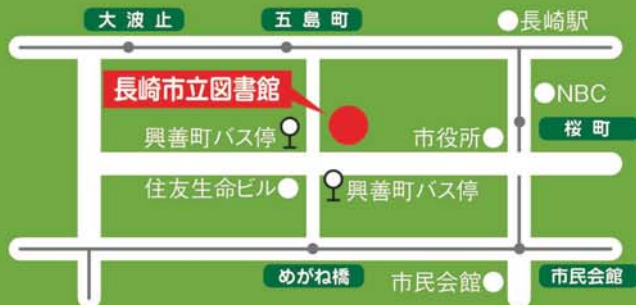
長崎市立図書館多目的ホール
(長崎市興善町 1-1)

講師

長崎大学感染症共同研究拠点
人材育成部門長

南保 明日香 教授

北海道大学薬学部卒業、北海道大学大学院薬学研究科博士課程修了。博士(薬学)、薬剤師。
北海道大学遺伝子病制御研究所助手、ウィスコンシン大学マディソン校マッカードゥル癌研究所・獣医学部研究員、北海道大学大学院薬学研究院講師、ウィスコンシン大学マディソン校マッカードゥル癌研究所客員研究員、北海道大学大学院医学研究院准教授を経て、2019年3月から長崎大学感染症共同研究拠点教授としてウイルス感染症の教育・研究とともに、人材育成部門長としてBSL-4施設設置計画を担当している。



主催・お問い合わせ 長崎大学感染症共同研究拠点
〒852-8521 長崎市文教町 1-14

0120-095-819 FAX 095-819-2960
<https://www.ccpid.nagasaki-u.ac.jp/>